

神杉自治連だより

神杉大田植6月11日開催

神杉大田植実行委員会



第17回神杉大田植の様子

- 第18回神杉大田植実行委員会を、2月9日(木)に開催し、令和5年度は、6月11日(日)午前10時から松田敏昭さんの圃場で実施することが決まりました。
- 実行委員長は、林 俊之さん。副実行委員長は、新祖光敏さん、山口 浄さん。総括責任者は、自治連会長有田雅俊さんが選出され、自治連事務局がサポートしていきます。
- 開催にあたっての実施概要は次とおりです。
- ① 手指消毒などのコロナ感染防止対策を行いながら実施する
 - ② 来場者のマスク着用は、希望者のみ着用する
 - ③ 早乙女やスタッフのマスク着用希望者は、フェースシールドを着用する(支給)
 - ④ 早乙女は囃子を含め40名確保する(目標)
 - ⑤ 広報・宣伝は市外へも行う
 - ⑥ 小学校5年生児童の体験田植を行う
 - ⑦ 体育館で代みて行事及びお楽しみ抽選会を行う
 - ⑧ 花牛は3頭圃場へ入る



花牛3頭勢揃い(昨年度)



早乙女さんも勢揃い(昨年度)

具体的な内容については、6つの専門部会で協議をし、4月初旬に予定している2回目の実行委員会で最終決定します。

コロナ感染症については2類から5類へ管理区分が変更されるようですが、今後もコロナ感染状況について、注意深く確認していきます。

神杉3大行事の一つである神杉大田植は、大人から子どもまで幅広い年齢層のとても多くの人が協力し、地域の絆が深められるとても良い場です。

神杉大田植を通じて、元氣な神杉を発信していくために、皆様のご協力をよろしくお願いたします。

神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
2023/3/10発行
2月末(前月比)
人口1,487(-8)
世帯数603(-4)
ホームページ
kamisugi@m-city.jp



5年生親子の体験田植(昨年度)

神杉大田植実行委員会では、早乙女さんを広く募集します。小学校5年生の児童と一緒に田んぼへ入り、田植え歌に合わせて苗を植えます。

稲作文化の伝統を継承し、先人の知恵と苦勞を認識することで今のありがたさに感謝し、地域の絆を深める場として、子どもたちが郷土愛を抱くよう教育の一助とすることを目的としています。



親子仲良く(昨年度)

特に5年生の児童の保護者の方には、我が子と田植え体験できるチャンスです。是非とも参加していただき、親子の絆をより一層深めて、思い出の一日としてください。ご参加をお待ちしています。

また、今年も神杉特産品の販売や、新鮮野菜市も行います。地区外からのお客様には特にご好評をいただき、すぐ品切れとなつていきます。数量等少なくとも構いませんので出品のご協力をお願いします。

みんなの力で神杉大田植を盛り上げていきましょう。

お問い合わせ 神杉自治会館 66-1323

ハッピーバレンタイン

手作りチョココレート教室



悪戦苦闘・しています

県立広島大学と神杉自治連のコラボ企画で、大学生が子どもたちに学習や運動等のアドバイスをしたり、ものづくりを一緒にして、身近なお兄さんお姉さんとして継続的に子どもたちと関わっていく企画です。

初回は2月11日(土) 県立広島大学3年生3名と、神杉小学校5・6年生6名と大人3名でバレンタインデーの前に、手作り



りチョココレート教室が開催されました。慣れない先生役の県大のお姉さんの説明を聞き、いざお菓子作りが始まり、大学生と一緒に粉をこねたり混ぜたり悪戦苦闘・・・焼き上がり心配しながらの待ち時間は、県大庄原キャンパスの話聞き、やがてちよつと形は悪かったけど手作り感いっぱいのチョコマフィンとスノーボールが完成しました。ラッピングもかわいく出来、参加した子どもたちはみんな満足そうでした。

子どもたちは大学生と関る中で、自分の将来像を考えるきっかけ作りとなり、大学生も企画運営することで、子どもとの関り方の勉強にもなると思います。これから2回3回といろんなことを一緒に考えてやっていきたいと思ひます。



尾首山憩いの森で

3年生とシイタケの植菌

尾首山憩いの森づくり実行委員会(委員長 三原和美さん)は、2月20日(月)に神杉小学校3年生と実行委員会メンバーで、シイタケの植菌作業を行いました。



電動ドリル初体験

初めて使う電動ドリルの持ち方や穴のあけ方を習い、実行委員さんが用意した榎木(ほだぎ)穴を開けていきました。最初は恐る恐るの作業でしたが、ゆっくり真つ直ぐ穴を開ける

ようにアドバイスをされながら作業をしました。次は木槌でシイタケの駒を打ち込みました。最初は一つずつ駒を穴に差し込んで木槌で叩いていきましたが、慣れてくると駒を先に埋めておき、後からまとめて叩いて、効率良く作業を進めていくことができました。



駒打ち体験中

これから約2年間尾首山で寝かせて5年生で収穫体験ができるようになります。今はあまりシイタケが好きではない子どもたちもいるようです。自分で植えたシイタ

ケを時々観察して美味しく食べれるようになってくれればと願っています。毎年、6年生は卒業前に、榎木を家に持ち帰り、家族で収穫し、味わっていただいています。



しばらく寝かせます

わくわく講座開講しました

2月20日(月)今年度6回目のわくわく講座を開講しました。三良坂町の正法寺住職 小武秀道様のお話を聞きしました。



楽しいお話の小武住職さん

僧侶には、お経に注力した僧侶と、お経と布教にも注力した僧侶の2種類があるそうで、小武住職は後者の方ということでした。

前半は、住職の生い立ちから話が始まり、愉快な話に皆さん大笑いの連続。そこから

徐々に仏の世界に入り、弘法大師(空海)様のお話に進んでいきました。欲を捨て皆のためはどう貢献していくか高度な話へと進みました。

後半はお釈迦様が説いた仏語。五眼(ごげん)の話で、①肉眼(にくげん)②天眼(てんげん)③慧眼(えげん)④法眼(ほうげん)⑤仏眼(ぶつげん)は、もの見方や認識のはたらきを眼になぞらえて五種に整理したものだそうです。今後機会があればそれぞれの住職さんにお聞きして仏教の世界を少しでも理解すること、今の不可解な社会が少しでもよくなればいいなと感じました。

次回は、3月13日(月)、健康運動指導士の永谷洋理子さんの「地域で生ききるパート2」の楽しいお話や介護予防の軽い運動と閉講式です。

東部地区まちづくり講演会



熱心に聞かれていました

2月25日(土) 東部地区主催(当番館 和田自治連合会)による東部地区まちづくり講演会を広島県立歴史民俗資料館研修室で行い、約60名が参加されました。

講師は、一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所の藤山 浩所長でした。

初めに、東部4地区(和田、神杉、田幸、川西)の人口動態について現状報告と今後各地区が持続的に維持できるための必要人口増についてお話がありました。各地区とも人口減少と、高齢化率の上昇は避けて通れない状況にあります。その中で、神杉地区においては、減少率は微減にとどまっています。しかし、今後安定するためのシナリオとしては、今後5年間のうちに

- 20代前半男女1組(2名)
- 30代子ども連れ夫婦1組(3名)
- 60代定年帰郷夫婦1組(2名)

の定住増加が必要とのお話がありました。また、日本全国各地で、持続可能なまちづくりを目指して地域全体でアイデアを出し、工夫して成功を収めている地域の事例発表もされました。

神杉においては、このシナリオを共有し、目標にして、皆さんの衆知を集め、各諸活動を推し進めていきたいと思えます。

歴史と自然豊かで、お互いを尊重し、笑顔があふれる人情深い神杉。地理的にも商業施設や病院などが近くにあり、上水、下水処理も完備され環境的にも優れたこの地域。

このことを多くの人に認知していただき、お互いが住んでよかった神杉となるよう、絆を深めていきたいと思えます。

皆さんの積極的なご意見、ご提案をお待ちしております。

お一人暮らし高齢者の方への友愛訪問

コロナ禍の影響により、地域さまざまな活動や事業が制限される中、高齢者の閉じこもりや孤立を防ぎ、これまで以上に心に寄り添う見守りが必要になっています。

神杉地区社会福祉協議会(会長 住田彰宣さん)では、3月4日(土)、地区内の75歳以上のお一人暮らしの方38名へ友愛訪問を行いました。



民生委員さんと協力員さんとボランティアの会員さんが二人一組となり、対象者のお宅へ行き対話活動を行い、少しでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう安否確認と孤独感の緩和を図ることを目的とし、訪問しました。対象者の方々は、会話が出来ることをとても喜ばれていました。ご自宅でお一人の時間を少しでも楽しんでいただけるように、おはぎと乳酸菌飲料と即席のお味噌汁をセットにしてお土産にしました。

今回は、JA三次ふれあいすけあい組織タンプポの会神杉支部(支部長 三原明美さん)からも即席お味噌汁セットが配布されました。

一斉清掃でクリーンな町に



神杉地区公衆衛生推進協議会(会長 新川誠司さん)では、3月5日(日)9時から今年度最後(5回目)の一斉清掃を行いました。寒い中多くの公衆衛生推進員さんの協力のもと、広域農道の両サイドを、フードオアシスから山手交差点までゴミ拾いを行いました。相変わらずポイ捨てが多く、紙類、ペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻、鉄くず等様々なものがポイ捨てされています。今回は45ℓのゴミ袋で9袋分収集されました。

いろいろな自然破壊につながっている一人一人の軽率な行動。誰もがマナーを守って環境を整えていきましょう。

中には、個人的にクリーンセンターへの持ち込みする際輸送中に車のバウンドや風によって荷台からゴミを落としていくこともあるそうです。危険も伴うので、幌をかけたり、ロープでしっかり固定して対応しましょう。



愛の灯

令和五年二月一日から同月末日までに、次の方々からご寄付が寄せられました。

《香典返し》

七区 山田 禎彦 様

(亡父 山田 幸三 様)

《一般寄付》

東部地区親善ゴルフ会 様

(会の解散につき、東部4地区へ分配)

紙面をおかりしまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

3月 講座・行事・会議予定

- 10日 (金) パソコン カラオケ 広報紙配布
- 11日 (土) 大正琴 保育所卒園式
- 13日 (月) わくわく講座 社交ダンス
公衆衛生生活安全部会
- 14日 (火) 舞踊 三味線 青少年育成子育て支援部会
- 15日 (水) 書道
- 16日 (木) 俳句 民児協班会議 スポーツ振興部会
- 17日 (金) パッチワーク 大田植総務部会
社会福祉部会
- 19日 (日) グラウンドゴルフ月例会
- 22日 (水) 文化生涯学習部会
- 23日 (木) 絵手紙 小学校卒業式
- 24日 (金) パソコン 生花 カラオケ
- 27日 (月) 社交ダンス
- 28日 (火) 舞踊 三味線
- 30日 (木) 三役会議

4月 講座・行事・会議予定

- 4日 (火) 舞踊 三味線 神杉大田植実行委員会
- 5日 (水) 書道
- 6日 (木) 神杉よいとこ振興保存会総会
小学校入学式
- 7日 (金) パッチワーク
- 10日 (月) 広報紙配布



野焼きに注意しましょう

春先は野焼きの不注意により、火災が多発します。野焼きは危険と隣り合わせの作業であることを常に意識してください。また、身の安全や延焼拡大を防止するために、風が強く吹いている時や空気が乾燥している時には実施しないようにしましょう。

★野焼きの注意点について

- (1) 一人では行わず、必ず複数の人と協力して実施する。また、高齢者だけでは行わない。
- (2) 水が入ったバケツやスコップなど消火用具を事前に準備する。
- (3) 厚手の生地 of 衣類を着るなど、着火しにくい服装にする。
- (4) 開始前に消防署へ電話連絡する。
- (5) 火をつけたら確実に消火するまではその場を離れない。

★火災が発生した場合

無理に消そうとせず、速やかに消防署へ119番通報する。



編集後記

中学生や高校生の殺人未遂等殺伐としたニュースが多い中で、少し明るい話題として、新井新監督率いるカープの動向が報道され、わくわく感でいっぱいこの頃。

マスクを着ける必要があるが、従来の応援体制も復帰してにぎやかなマツダスタジアムを想像することでビールもおいしくなる。

勝負の世界。育てながら、しかし、勝つことも要求され、大変と思うが近い将来に期待の持てる采配を期待したい。



新

山脈句会 (二月)

待ちどろし鍋の出番の終る日を

高松 英子

昼食^{ひる}どきの会話を^{しず}阻む垂り雪

広川テル子

冬籠り漢字出てこず老いを知る

住田東洋男

ゆらゆらり鯉も顔出し雨水どき

中藤 博文

菜の芯に小さきつばみ春を知る

田原 洋子

春來たり背筋伸ばして歩くなり

中本 好美

